

Learning line

～見えない障害を越える方法を明らかにする～

2026年06月20日

金沢工業大学 起業部 杉森 彩乃

提案

テーマ：暮らしづくり，人づくり

金沢市における 学習障害(LD)支援プラットフォームの構築

私たちについて

片町でのイベント開催



会社を作ろうへの
ボランティア参加

金沢工業大学

起業部

メンバー13名



勉強会



起業部について

金沢工業大学「起業部」の指針

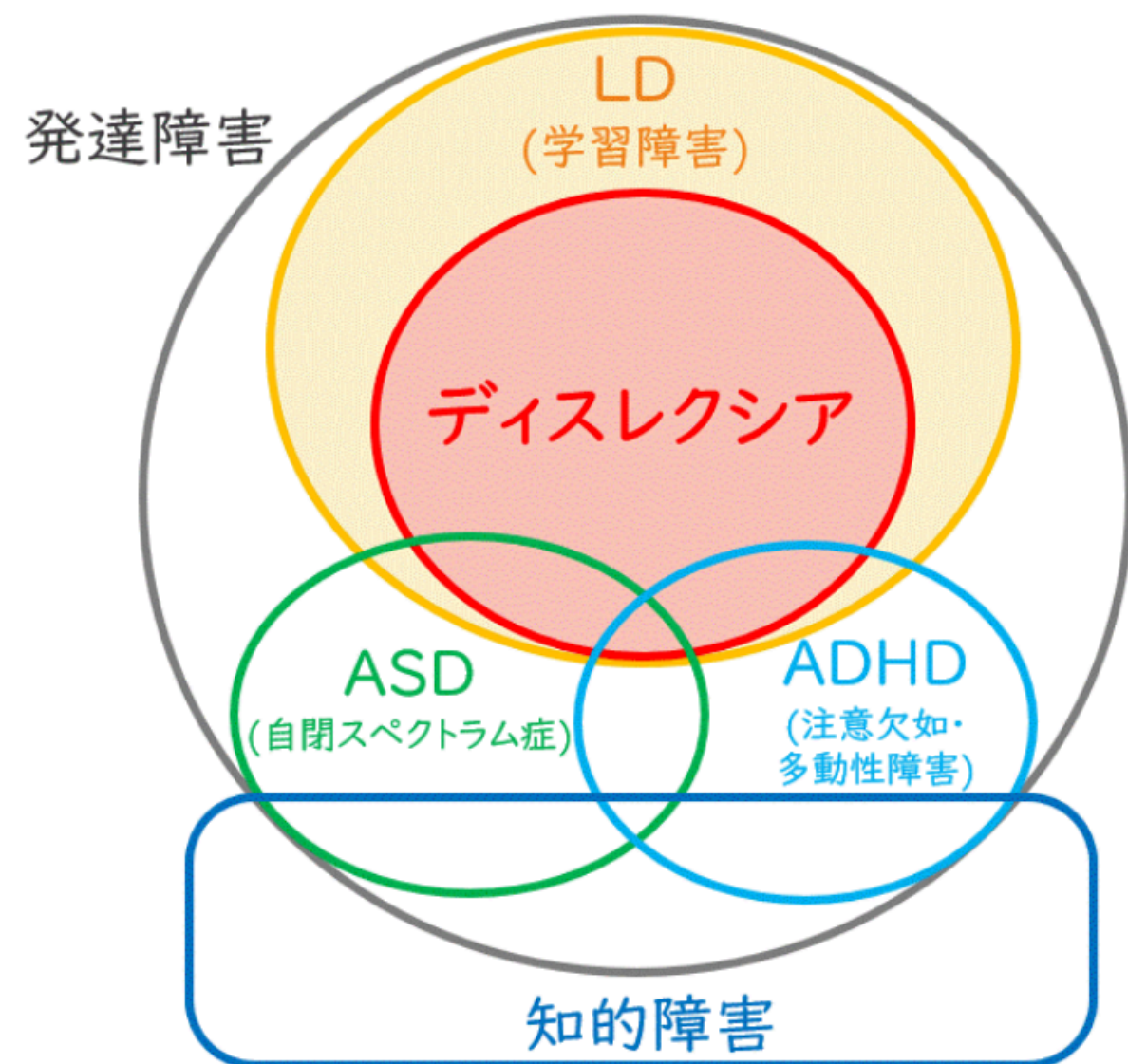
「何かをしたい人を応援し、社会課題を解決する」

Learning Disability(学習障害)とは

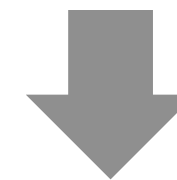
LD(学習障害)とは

発達障害の一種

全般的な知的発達に遅れはないが、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの[1]



全学生のうち診断済みの学生の割合**0.0095%**[2]
しかし、推定値は**6.5%**[3]



多くの人が支援から漏れている可能性

LD(学習障害)とは

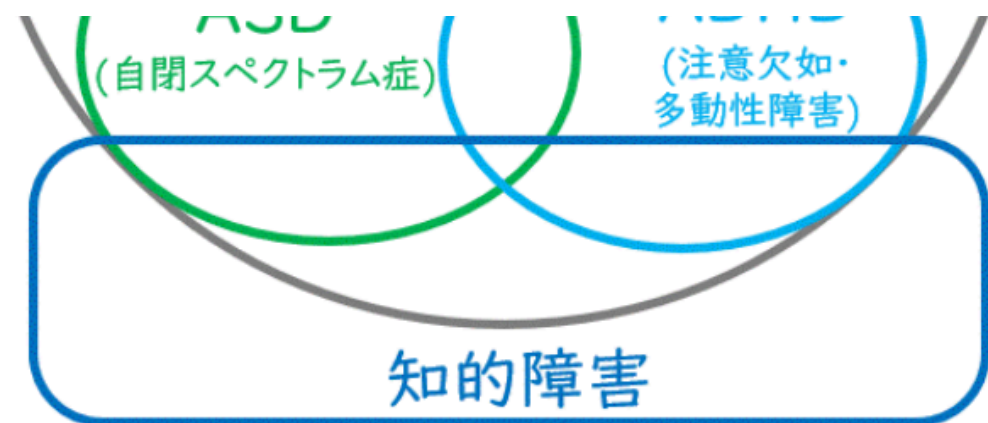
発達障害の一種

全般的な知的発達に遅れはないが、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」又は推論する能力が、その発達年齢に比べて著しく低く、かつ、同年代の通常の子供と比べて著しく低いもの[1]

発達

15%[2]

LD(学習障害)の認知度の向上が求められる



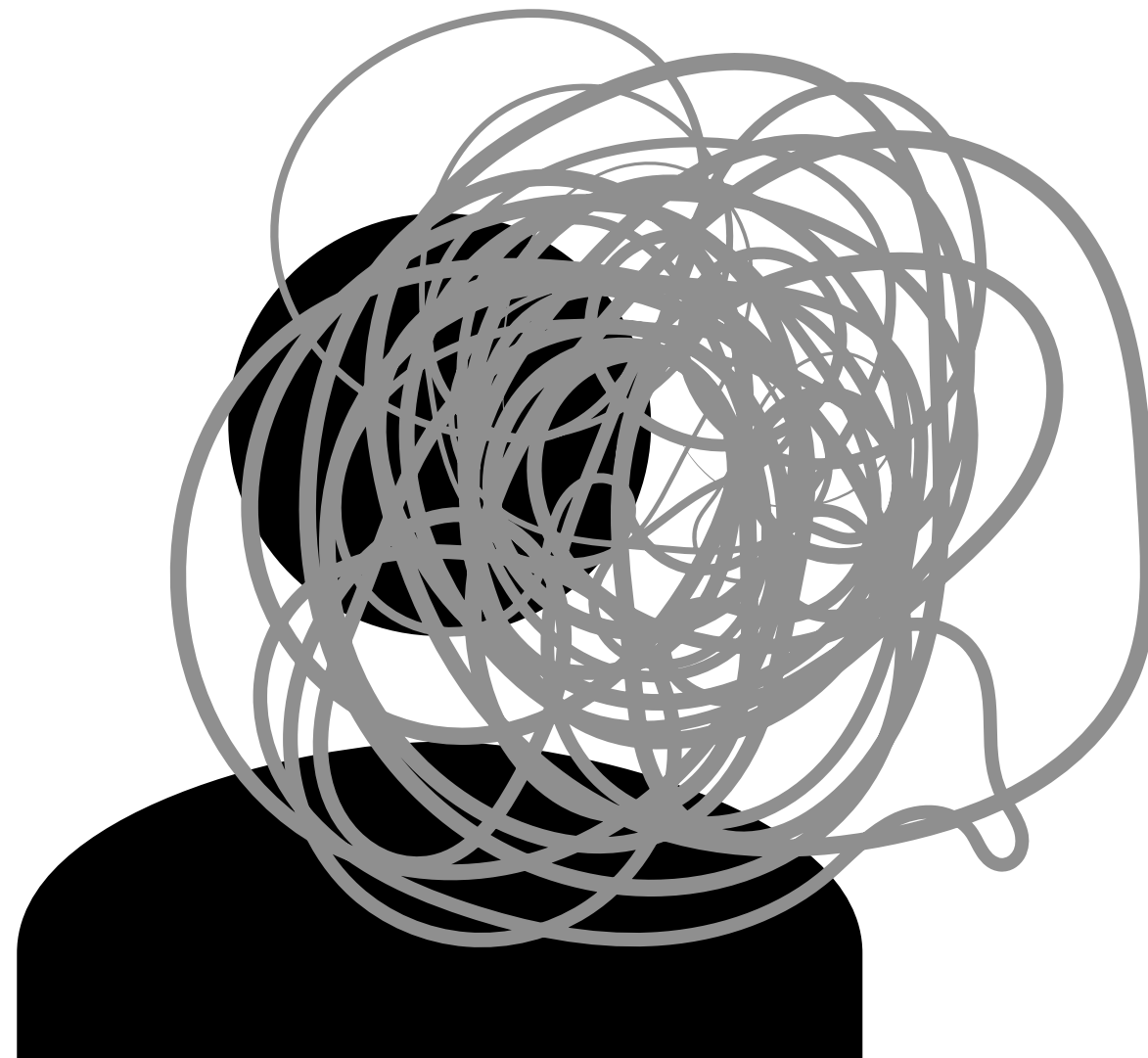
多くの人か又抜かり漏れしている可能性

LD(学習障害)とは

発達障害は一見するとわからないため

『見えない障害』と呼ばれる

LD(学習障害)はその中でも当事者によってできないことが大きく異なるという特徴があり、**学齢期に障害が顕著になることが多い**



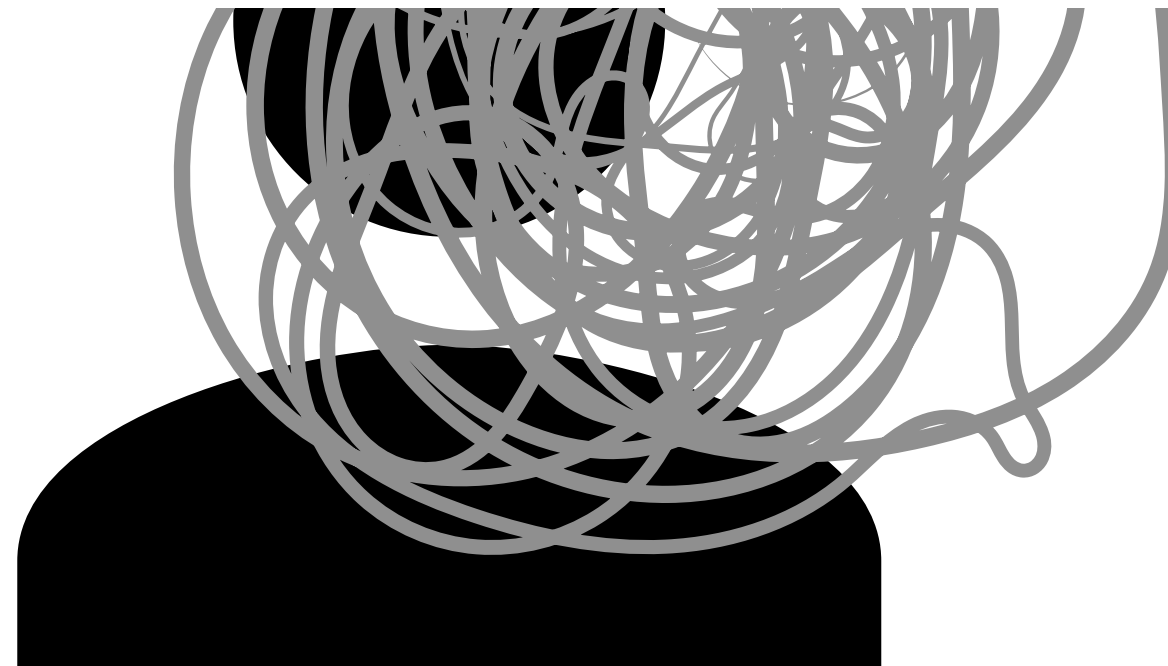
LD(学習障害)とは

発達障害は一見するとわからないため

『**見えない障害**』と呼ばれる

LD(学習障害)はその中でも当事者によってできないことが大きく異なるという特徴があり、**学齢期に障害が顕著になることが多い**

**LD(学習障害)はより“見えにくい”
障害であるといえる**



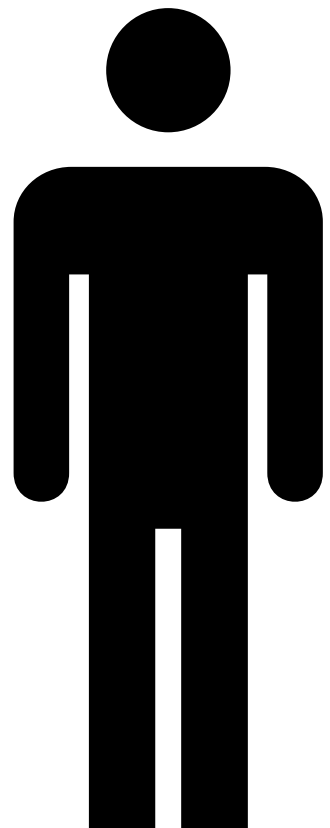
現状と気づき

現状と気づき

私も当事者の一人

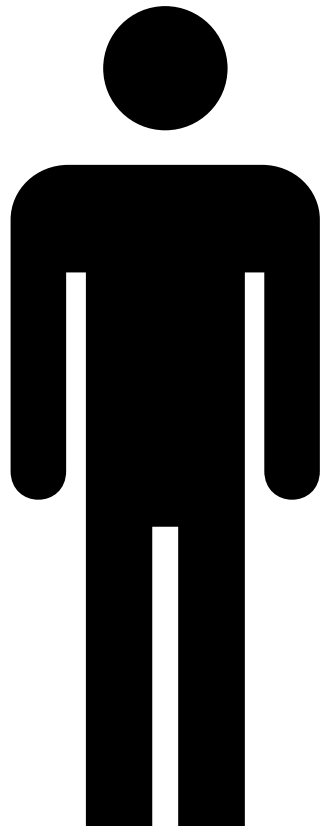
漢字を使ってメモを
取れない...

テストの記述問題
に解答できない...



現状と気づき

私も当事者の一人



漢字を使ってメモを
取れない...

テストの記述問題
に解答できない...

所属する大学における 合理的配慮に基づく申請制度の利用

「授業内でスマートフォンやパソコン
を使用してメモを取ることに」

「テストの筆記問題を平仮名や片仮名
で回答しても減点しないことに」

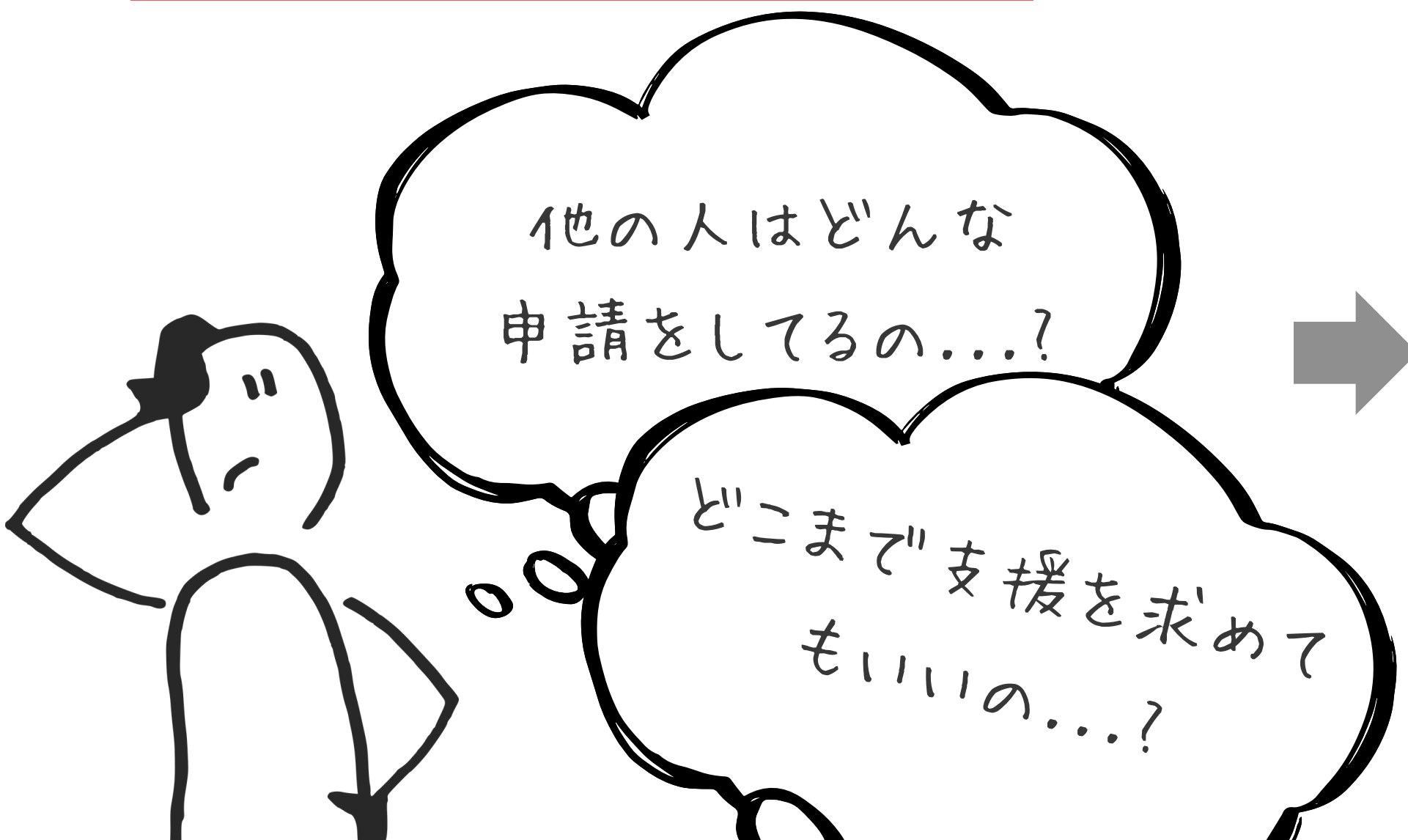
「手書きで提出を求められた課題をデ
ータで提出することに」

これらの事を認めてもらっています

現状と気づき

合理的配慮の申請を行うために必要なこと

「いつ、何ができないのか、具体的に何を行ってほしいのか」
を明記する必要がある



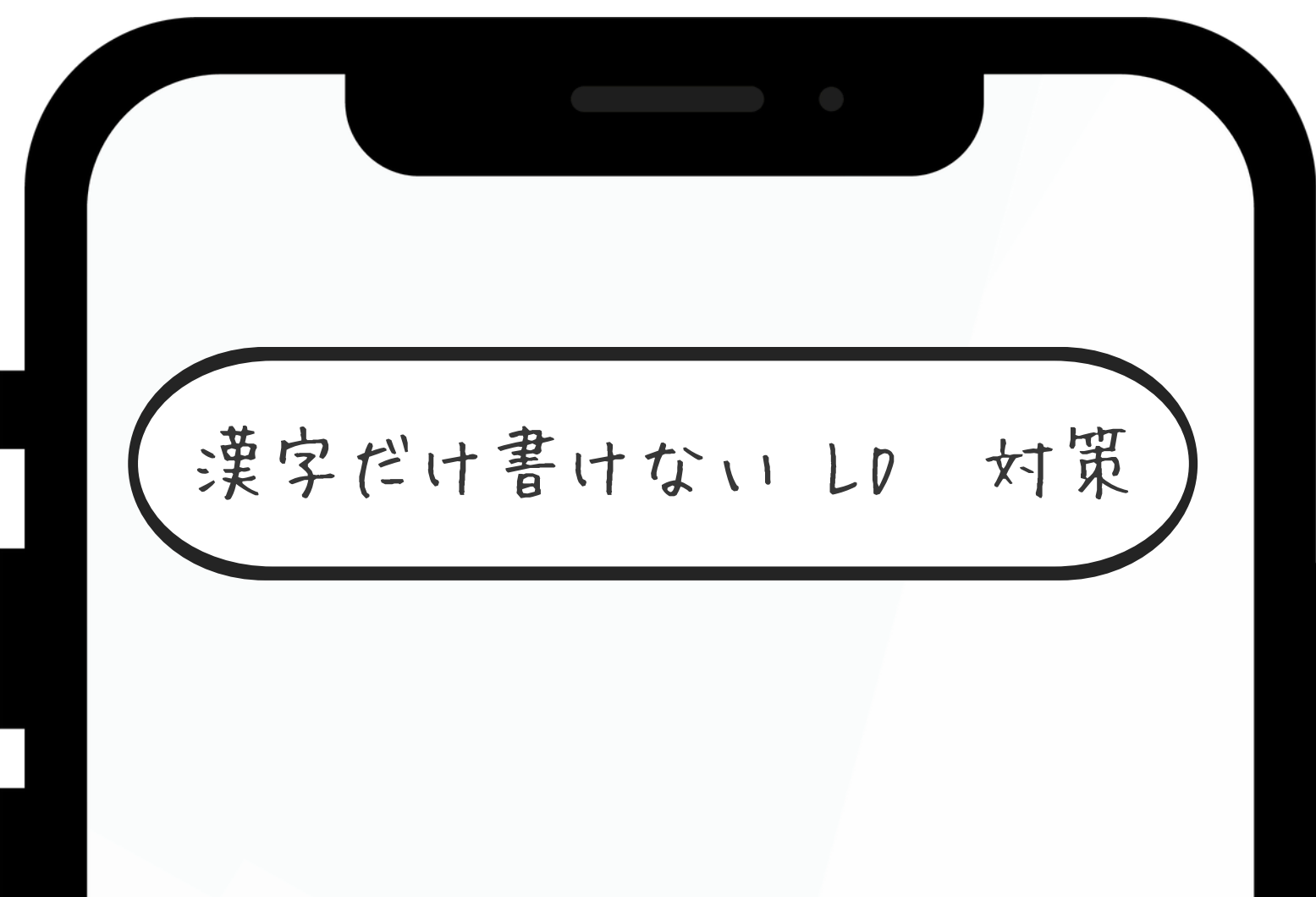
他の人はどんな
申請をしてるの...?

どこまで支援を求めて
もいいの...?

**LD(学習障害)はその個別性から
情報が大学にはありませんでした**

現状と気づき

インターネットを用いて検索を行った結果

A stylized illustration of a smartphone with a black frame. The screen is light blue and displays a white rounded rectangle containing the text '漢字だけ書けない LD 対策'.

漢字だけ書けない LD 対策

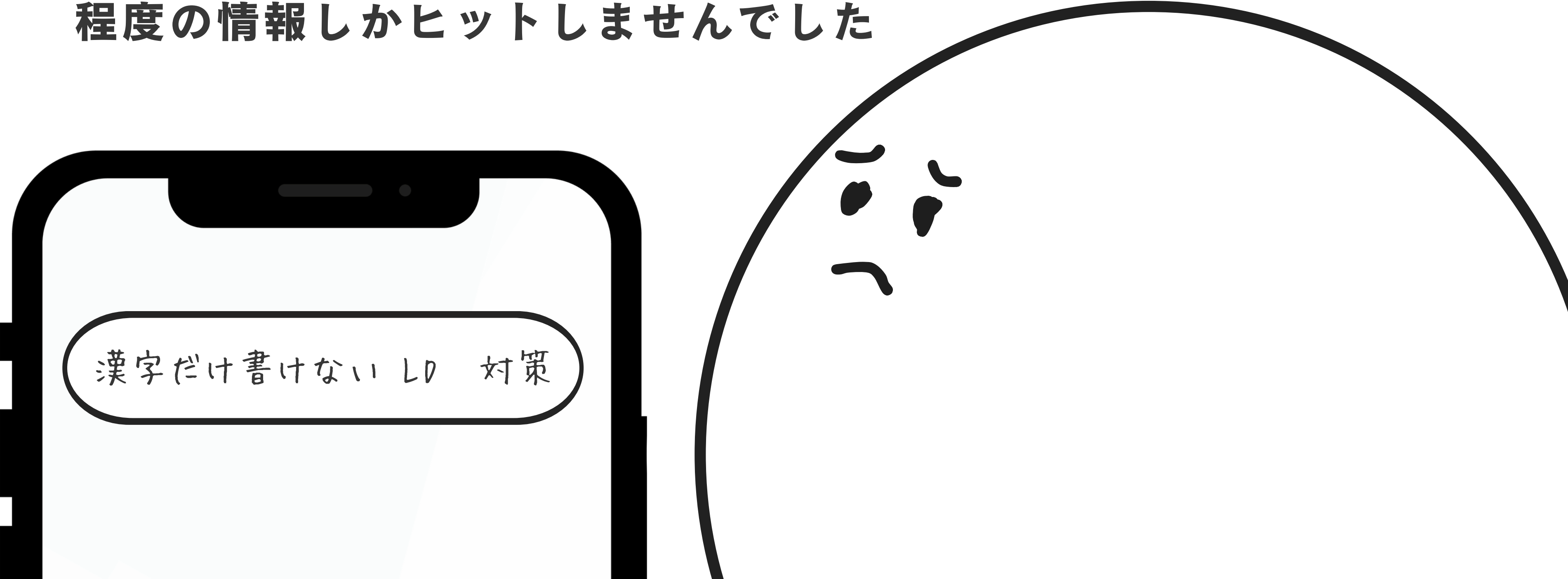


現状と気づき

インターネットを用いて検索を行った結果

「パソコンやスマートフォンを使用して対策を行っていくといい」

程度の情報しかヒットしませんでした



漢字だけ書けない LD 対策

The illustration shows a smartphone on the left with a search result displayed on its screen. To the right of the phone is a large, simple line drawing of a sad face, consisting of a large circle for the head, two small dots for eyes, and a downward-curving line for a mouth.

現状と気づき

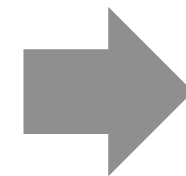
独立行政法人日本学生支援機構が公開している 障害のある学生への支援・配慮事例内でも[4]

公開されているデータは「スケジュール管理の指導」、「関係者への学生が希望している支援内容の周知」
までの情報しか含まれておらず

肝心の

「いつ、何ができない人が、具体的に何を配慮してもらっているのか」
という情報は含まれていませんでした。

データ数も19件と少なめ



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO
Japan Student Services Organisation

調査・データ お問い合わせ一覧 背景色 白 文字サイズ 標準 大 English

ホーム 奨学金 留学生支援 学生生活支援 寄附による学生支援 組織情報 よくあるご質問

ホーム > 調査・データ > 障害のある学生への支援・配慮事例 > 発達障害・LD及びADHD

発達障害・LD及びADHD

発達障害・LD及びADHDの学生への支援・配慮事例、全19例を紹介します。
以下は、支援・配慮（または支援の申し出）の概要を、場面別、学校規模（在籍学生数）別に一覧にしたリストです。知りたい事例を選んでクリックしてください。

場面

- ▼ 授業、試験、移動、施設改修等
- ▼ 進級、卒業、就職、学外実習等
- ▼ 学生相談、カウンセリング等
- ▼ 学外生活（通学、入寮等）

授業、試験、移動、施設改修等

調査・データ

- 学生生活調査・高等専門学校学生生活調査・専門学校学生生活調査
- 学生生活調査・高等専門学校学生生活調査・専門学校学生生活調査
- 奨学金に関する調査
- 奨学事業に関する実態調査
- 奨学金の返還者に関する属性調査
- 米国における奨学制度に関する調査報告書
- イギリスにおける奨学制度に関する調査報告書

チャットボット

[4]独立行政法人日本学生支援機構,調査・データ,障害のある学生への支援・配慮事例,発達障害・LD及びADHD

教育の現場でのLD(学習障害)



教育実習で小学校に行った友人
「LD(学習障害)を持った学生への
教育は、個人に合わせた支援をそ
の場で考えていた」

現状と気づき

- ・ 仮説1

発達障害に詳しく、LDまで理解できている先生がいる学校と
ない学校では、LD(学習障害)当事者の**子供が受けられる教育の
質が大きく変わってしまうのではないか**

現状と気づき

- ・ 仮説2

『いつ、何ができない人が、具体的になにを行ったのか』という情報が公開されることは、学習障害を持った本人や親族だけではなく教育現場の負担を減らすことにも繋がるのではないか

提案

提案

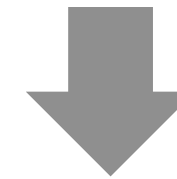
- ・ 一番の問題は**情報が不足**していること
まずは情報を集め、現状を知り、共有することから始めていく

提案

具体例のデータベース化とプラットフォームの構築

当事者やその家族等を対象とした座談会を定期的に開催します。座談会の中で
「〇〇という困難を抱えた人間が〇〇という行動(対策)をとったところ上手く行った
(〇〇という対策をしている)」
等の細かな情報を記録していきます。

定期的な座談会の開催(二月に一度)



気楽に繋がれるコミュニティの形成と
安定したデータの収集を行います



※個人情報の取り扱いには十分に配慮し、適切な管理を行います。
※共有するデータは、本人・家族の許可を得られた範囲とします

提案

具体例のデータベース化とプラットフォームの構築

障がい者週間(12月の3～9日)にイベントを行うことで、認知度の向上を狙います。

広告の方法については、金沢市の公式ラインや金沢市のホームページ等で告知していただきたいと考えています。

また、金沢市の教育センターや特別支援学校、社会福祉協議会にも働きかけます



石川県発達障害児・者親の会「PAL（パル）」

発達障害児 親の会 クローバー

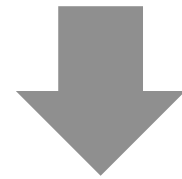
不登校・発達特性 親の自助グループ「やすらぎの会」

などの石川県の既存の団体にも働きかけます

提案

具体例のデータベース化とプラットフォームの構築

- ・データの収集について、座談会のみならず、金沢市の小中学校や特別支援学校に聞き取りを行い、実際の教育の場で行われている支援の内容もデータとして収集します。



収集したデータをまとめて、データベースを作成します。初年度はそのデータベースを用いて「こうしたら上手く行った」「こんな対策を行っている」といった情報を障害が出ている箇所ごとに分類した「対応事例book」を紙媒体で作成します。



提案

具体例のデータベース化とプラットフォームの構築



「対応事例book」は金沢市の支援センターや特別支援学校等の当事者やその家族が出入りする施設に置いてもらいます。

提案

具体例のデータベース化とプラットフォームの構築

これらの提案については、私が所属している金沢工業大学の土橋喜人教授に相談を行い、より実情に即したイベントを開催していきます。



土橋喜人 教授・博士（工学）

略歴

1987年 3月 北海道札幌南高等学校 卒業
1991年 3月 国際基督教大学 教養学部 社会科学科 卒業
1991年 4月 株式会社三和銀行 総合職行員
1996年 1月 特殊法人国際協力事業団 青年海外協力隊員
2000年 8月
（独法）日本貿易振興会・アジア経済研究所開発スクール（IDEAS） 修了
2001年 11月 特殊法人国際協力銀行 調査役・参事
2001年 12月 マンチェスター大学 経済学・社会学 修士課程 修了
2008年 10月 独立行政法人国際協力機構 主任調査役
2017年 5月 宇都宮大学 大学院工学研究科 リサーチアシスタント
2020年 3月
宇都宮大学大学院 工学研究科 システム創成工学専攻 博士後期課程 修了
2020年 4月 宇都宮大学 地域デザイン科学部 客員教授
2023年 4月 金沢工業大学 基礎教育部 修学基礎教育課程 教授
2025年 4月 金沢工業大学 情報デザイン学部 環境デザイン創成学科 教授

専門分野

専門：交通バリアフリー、国際協力、障害と開発、障害者福祉、NGO、参
型取り組み、社会開発、共生社会、国際社会福祉、交通計画、都市計画

事業収支計画

事業収支計画

科目	金額	内訳
会場費	15,000	しいのき迎賓館（セミナールームA）（30人想定）（椅子、机、マイク、プロジェクター、スクリーンあり）午後利用 3,750円×4
印刷製本費	34,905	ポスターA0サイズ(屋外用)6部 23,138円(ラクスル) チラシA4サイズ 200部 2,277円(ラクスル) 対応事例book 50部 B5 6ページ 両面カラー 上質紙70kg 左とじ上1ヶ所(タテ) 9,490円(ACCEA EXPRESS)
消耗品費	40,000	参加者向けのお茶菓子代
交通費	10,095	イベント会場への移動費 教育関係者や親の会や自助グループとの打ち合わせに掛かる移動費
計	100,000	

事業の展望/提案を行った理由

事業の展望

- ・ 今後の展望としては「対応事例book」を直接閲覧するのが難しい層や教育機関に情報提供を行っていくために、データベースの形はExcelやウェブサイト等、必要とするユーザーに最も届く形を考えて変えていきたい。

提案を行った理由

・「協働のまちづくりチャレンジ事業」で提案を行った理由

このチャレンジ事業は『金沢市と連携して何かする』ことが可能な事業であり、小中学校にアクションを取ることができる金沢市と一緒に事業を行っていきたいという意思があるからです。

———— [THANK YOU!] ————

ありがとうございました！

—————